

情報学委員会ITの生む諸課題検討分科会 (第26期・第4回)

議事要旨

1. 日 時 令和6年7月5日(金) 10:00~11:00
2. 会 場 日本学術会議会議室5-A(1)及びオンライン会議(ハイブリッド)
3. 出席者 山田 八千子、大場 みち子、黒橋 禎夫、相澤 清晴、稲見 昌彦、笠原 博徳、柴山 悦哉、庄司 裕子、高岡 詠子、中小路 久美代、灘本 明代、長谷山 美紀、東野 輝夫、宮崎 久美子、山下 直美、吉濱 佐知子、喜連川 優 下線はオンライン出席
欠席 井上 美智子、須藤 修、徳田 英幸、橋本 隆子、林 秀弥、
平田 貞代、松本 健一、湊 真一

4. 議 題

(1) 分科会役員について

- ・東野輝夫氏から喜連川優氏への委員長交代について分科会により了承された。
- ・第25期に開催した公開シンポジウム「生成AIの課題と今後」のインパクトが強く、第26期も前回は踏襲した公開シンポジウムを開催するにあたり、前回シンポジウムの取りまとめ者であり、この分野の知見が豊富な喜連川優氏に委員長を交代することになった。

(2) 委員の追加について

- ・佐藤一郎先生の委員追加について分科会により了承された。

(3) 書籍発行のお知らせ

- ・喜連川委員長より、本分科会を設けた経緯、ならびに、今般の「生成AIの論点」なる書籍の出版とその背景が説明された。

(4) 公開シンポジウムの検討

- ・本分科会の過去からの活動経緯を振り返り、情報分野では、技術の進展の速度が大きいことから、提言、意思の表出によることに加えて、シンポジウムを機動的に開催することにより、最新情報の社会への提供、加えて、デジタル技術を用いたオンラインの議論の場の創設も重要との認識を改めて確認した。

(5) その他

- ・現在、様々な分野において生成AIが関心事となっているが、それ以外の検討すべき諸課題に関して次のようなキーワードが挙げられた。

社会におけるさまざまな分断

法曹界でのAI利用

地方大学の課題、とりわけ、初等・中等教育における問題

大学での生成AIへの取り組み方

広義のサイバーセキュリティの課題

若い世代の気持ちを遅くする必要性

5. 配布資料

資料1：分科会名簿_委員の追加

以上